

建設工事等の契約の内容に係る情報の公表

【平成25年度】

【公表様式】

※契約締結日の属する年度の次年度以降に、契約金額の変更を伴う契約の変更を行った案件について掲載しています。

発注機関：可茂農林事務所

工事(委託)番号	工事(業務)名	施工場所	工事(業務)種別	契約の相手方の商号又は名称	契約の相手方の住所	契約締結日(変更契約締結日)	施工(履行)期間	契約金額(円)	工事(業務)概要	変更理由	変更回数
可林第2505号	公共林道舗装工事 (林道尾城山線1工区)	加茂郡白川町上佐見	舗装工事	(株)ニシノ	加茂郡白川町坂ノ東5739	平成26年3月19日	平成26年3月19日 ～ 平成26年7月18日	19,764,000	施工延長L=642m 幅員W=5.0m 舗装工 A=3,486m <sup>2</sup> 排水工 L=509m 附帯工 木製アスカープL=187m	-	当初
						平成26年6月20日	平成26年3月19日 ～ 平成26年7月18日	20,939,040	施工延長L=707m 幅員W=5.0m 舗装工 A=3,645m <sup>2</sup> 排水工 L=564m 附帯工 木製アスカープL=238m	L型擁壁部の路肩舗装について施工性が悪いため取りやめ、路肩盛土としたことによる各種工種の施工延長の増減	1回目
可林第2506号	公共林道舗装工事 (林道加茂東線5工区)	加茂郡東白川村神土	舗装工事	山田土建(株)	加茂郡東白川村神土788	平成26年3月19日	平成26年3月19日 ～ 平成26年7月18日	23,738,400	施工延長L=865m 幅員W=4.0m 舗装工 A=4,456m <sup>2</sup> 排水工 L=664m 附帯工 木製アスカープL=30m	-	当初
						平成26年6月18日	平成26年3月19日 ～ 平成26年7月18日	24,442,560	施工延長L=893m 幅員W=4.0m 舗装工 A=4,459m <sup>2</sup> 排水工 L=481m 附帯工 木製アスカープL=302m	路面浸食部分への補足材を施工したことによる増額	1回目
可林第2507号	公共林道舗装工事 (林道加茂東線3工区)	加茂郡東白川村神土	舗装工事	山田土建(株)	加茂郡東白川村神土788	平成26年3月26日	平成26年3月26日 ～ 平成26年6月20日	23,598,000	施工延長L=643m 幅員W=4.0m 舗装工 A=3,212m <sup>2</sup> 排水工 L=666m 法面保護工 A=695m <sup>2</sup> 附帯工 木製アスカープL=77m	-	当初
						平成26年6月4日	平成26年3月26日 ～ 平成26年7月18日	25,386,480	施工延長L=643m 幅員W=4.0m 舗装工 A=3,220m <sup>2</sup> 排水工 L=661m 法面保護工 A=1,066m <sup>2</sup> 附帯工 木製アスカープL=42m	法面保護工において、詳細な現地調査を実施した結果、風化による崩れがみられる部分について新たに施工することとした。その他、詳細測量に伴う数量の変更。	1回目
可池第2号	県営ため池等整備事業可茂南部1期地区桜ため池第1号工事	可児市大森地内	土木一式工事	小池土木(株)	岐阜県可児市広見5-77	平成25年9月24日	平成25年9月24日～ 平成28年2月26日	273,000,000	ため池改修工 一式 堤体盛土 V=20,111m <sup>3</sup> 、張ブロック A=3,337m <sup>2</sup> 、 斜樋工 L=36.8m、底樋 L=80.2m、洪水吐工 L=91.1m	-	当初
						平成26年5月9日	平成25年9月24日～ 平成28年2月26日	278,361,120	ため池改修工 一式 堤体盛土 V=20,111m <sup>3</sup> 、張ブロック A=3,337m <sup>2</sup> 、 斜樋工 L=36.8m、底樋 L=80.2m、洪水吐工 L=91.1m	底樋工について、底樋管を堤体上下流からクレーンにより吊込する計画であったが、下流側の進入路は狭いうえ路肩が弱いなどクレーン搬入が困難なため、開削部分を広く底樋の側方に仮設道路を設けることによる掘削及び埋戻しの増。 現地再調の結果、立木伐採区域における根株等の処分量の増に伴う抜根、運搬、処分費の増。	1回目
						平成26年10月8日	平成25年9月24日～ 平成28年2月26日	279,558,840	ため池改修工 一式 堤体盛土 V=20,111m <sup>3</sup> 、張ブロック A=3,337m <sup>2</sup> 、 斜樋工 L=36.8m、底樋 L=80.2m、洪水吐工 L=91.1m	ため池を落水したところ、堤体上流側の盛土先端部の基礎地盤に泥土が堆積しており、盛土の安定性が確保できないため、固化材による安定処理工V=849m <sup>3</sup> を施工する。 洪水吐工の流入部について、本体の保護のため、ブロック積工を施工する計画であったが、現地調査の結果、洗掘の恐れがないことから、ブロック積工A=62m <sup>2</sup> を不施工とすることによる減。	2回目
						平成27年3月19日	平成25年9月24日～ 平成28年2月26日	280,596,720	ため池改修工 一式 堤体盛土 V=20,281m <sup>3</sup> 、張ブロック A=3,337m <sup>2</sup> 、 斜樋工 L=36.8m、底樋 L=80.2m、洪水吐工 L=91.1m	既設洪水吐の取り壊しについて、有筋コンクリートを想定していたが、玉石混じりの無筋コンクリートで特殊な処分が必要となったため、処分場を変更する。V=134m <sup>3</sup>	3回目